

# 第1学年 図画工作科学習指導案

題材名 「おかしいっぱい」 (つくりたいものをつくる)

本題材の指導にあたって

このような題材で

- 本題材のねらいは、室見川の石という身近な材料に興味・関心を持ち、石をいろいろなお菓子に見立てる面白さを味わい、想像を広げながら思いついたものを自分なりの方法で表す力を伸ばすことである。  
本題材の開発にあたっては、次のとおりである。
  - ・ 校区のよさを再認識するために校区を探索し、室見川の石を集め材料として使えないか検討した。
  - ・ 石がおいしそうなお菓子に見えるように、彩色・ラッピングの試作をした。石への彩色には発色の違いを考慮し、パス・顔料ペン・油性ペンの3種類を使うことにした。
  - ・ 試作の結果、ラッピングしたセロハンがはずれやすいため色の付いたラッピング用針金で止めるようにした。
- 主な指導の内容は、次のとおりである。
  - ・ 石の形や色に興味を持ち、見立て遊びを楽しんだり、組み合わせの面白さや石とラッピング材の組み合わせの面白さを楽しんだりすること。
  - ・ 石の形や色から、おいしそうなおかしを思い浮かべることができること。
  - ・ 思いに合うように描画材を選び、石を彩色したりラッピングしたりすることができること。
  - ・ 自分や友達作品のよさや面白さを見付けることができること。
- 本題材の価値は、次のとおりである。
  - ・ 校区内にある室見川は、子どもたちにとって身近な場所であること。
  - ・ 1年生生活科「とびだせあそびたい」の学習や、地域行事「灯まつり」で室見川のよさを味わっていること。
  - ・ 空想の世界に入ったり見立て遊びを楽しんだりする発達段階であること。
  - ・ パス、顔料ペン、油性ペンなどの中から自分の思いにあった描画材を選んだり、ぬり方を考えたりして工夫してつくること。
- 教科書題材との関連については、1・2年生図画工作科教科書上巻の「おもしろいかたちいっぱい いしのへんしん」(つくりたいものをつくる)と、同じ石を材料として見立て遊びをしたり彩色したりする点でつながりがある。また1・2年生図画工作科教科書下巻の「あつめてかざって たからもの」(鑑賞)という題材の自分が集めたものの思いに合った見せ方を考えて工夫して表すという学習に発展していく題材である。

このような子どもだから

- 生活科「とびだせあそびたい」の学習では、1学期に春の室見川へ遊びに行き、室見川の自然と親しむ活動を行っている。その中で、石の形や色に興味を示し、「〇〇みたい」と見立て遊びを楽しむ姿も見られた。
- 「ぺたぺたべったん」で自分の作品を友達に紹介したり、よいところを友達からカードに書いてもらったりしたことで自分のよさを再発見し、自信を持つとともに活動への満足感を味わっている。
- 日頃から、色鉛筆やパス・色ペン・油性ペンなどの描画材を用いた活動をしているが、顔料ペンを用いた経験は少ない。

このような子どもに

- 石の形や色に興味を持ち、見立て遊びを楽しんだり、石とラッピング材の組み合わせの面白さを楽しんだりする。
- 石の形や色から、妖精さんが喜んでくれるようなおいしそうなお菓子を思い浮かべることができる。
- 思いに合う描画材を選んだり、ラッピングしたり、並べたりすることができる。
- 自分や友達作品のよさや面白さを見付けることができる。

このような展開で

- |                              |   |  |
|------------------------------|---|--|
| (1) 感動のある体験活動                | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 川原の石を使った材料遊びを提案する。</li> <li>○ ネイチャーゲームをしながら材料集めをさせる。</li> </ul>   |
| (2) 思いをつくるための想像を広げる活動        | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 妖精のお菓子づくりの話をする。</li> <li>○ 妖精からの手紙を提示する。</li> <li>○ 妖精のお菓子の写真を提示する。</li> </ul>  |
| (3) 思いを深めるための想像を広げる活動        | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「室見川の石コーナー」で石選びをさせる。</li> <li>○ 資料コーナー(お菓子の色や模様・描画材ごとの発色の違い、ラッピングの仕方・包み紙の模様の例)を設置する。</li> <li>○ 3つの味の店を設置する。</li> </ul> |
| (4) 思いをふくらませるための<br>想像を広げる活動 | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料コーナー(お菓子の下にしくもの)を設置する。</li> <li>○ 色画用紙コーナーを設置する。</li> </ul>   |
| (5) 完成の喜びを味わう活動              | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 妖精さんへのカードを書かせる。</li> <li>○ 自分や友達作品を鑑賞させる。</li> </ul>  |

指導計画（全6時間 図工5時間＋生活科1時間）

学習過程	時間目	主な学習活動と内容	展開の工夫
感受・着想	1 (生活科) 1 (図工)	<p>○ 感動のある体験活動</p> <p>1 生活科の学習「室見川でピクニック」 ○ 自分たちの手作りおにぎりとお弁当（簡易給食）をもって室見川へ行く。 ○ 室見川の自然（川の水、石、植物、虫など）と遊び、室見川の楽しさを感じる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">いしをつんだり、ならべたりしてあそぼう。</div> <p>2 積んだり並べたりして、石を使って自由に遊ぶこと。</p> <p>3 ネイチャーゲームをしながら石集めをすること。 ○ 丸い石、角張った石、小さな石、平べったい石、黒い石、白い石、つるつるの石、ざらざらの石などさまざまな石を集める。</p>	<p>○ 室見川に親しみをもち、楽しい場所だと感じるようにピクニック体験を仕組む。</p> <p>○ 石を見る、触る、音を鳴らす、積む、並べるなど、子どもたちの感覚を働かせるような遊びの提案をする。 持つようにさせる。</p> <p>○ 色、大きさ、形、手触りなどの違う様々な石があることに気付かせるようなゲーム（石でじゃんけん）を仕組む。</p>
発想・構想	2	<p>○ 思いをつくるための想像を広げる活動</p> <p>4 室見川での妖精たちのお菓子づくりの話聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ようせいさんがよろこぶおかしをつくらう。</div> <p>5 自分が変身させる石を選ぶ。 ○ 「室見川の石コーナー」の中で大きさや形、色を見て自分のつくるお菓子の石を選ぶこと。</p> <p>○ 思いを深めるための想像を広げる活動</p> <p>6 選んだ石を彩色する。 ○ 楽しく自分や友だちの作ったものを見せ合うこと。</p>	<p>○ 前時の楽しかった室見川での体験を想起させるために、持ち帰った石で「室見川の石コーナー」をつくらせる。</p> <p>○ 自分の思いをつくるために、想像の世界が広がるような話をする。その中に、妖精からの手紙も入れる。</p> <p>○ 子どもたちの発想を助けるために、妖精のお菓子の写真を提示する。</p> <p>○ 彩色の参考となるように、お菓子の色や模様、描画材による発色の違いの資料を提示する。</p> <p>○ 学習のふり返りが楽しくできるように、グループの友達と一緒に好きなお菓子のあてっこ遊びを行うようにする。</p>
表現	3	<p>○ 思いを深めるための想像を広げる活動</p> <p>7 彩色した石をラッピングする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">おかしがもっとおいしそうに見えるようにつつもう。</div> <p>○ きれいに、おいしそうに見えるように、工夫して包んだり並べたりすること。</p>	<p>○ ラッピングの参考となるように、ラッピングの仕方や模様の資料を提示する。 ・妖精から届いたお菓子の箱その1→3種類の包み方セロハン・ラッピング用針金などを用意する。</p> <p>○ できあがったものを並べられるように、箱の用意をさせておく。</p>

	<p>4 ○ 思いを深めるための 想像を広げる活動</p>	<p>8 できたお菓子を鑑賞し、イメージに合わせて種類別に並べる。</p> <div data-bbox="647 161 1323 231" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>できたお菓子のあじをかんがえて、お菓子をならべよう。</p> </div> <p>○ 教師のつくったお菓子を、色や形、模様などから3種類に分けること。</p> <p>○ 自分のつくったお菓子を鑑賞して、甘い・辛い・さっぱりのお菓子のどのイメージかを決めて、3つの味に分けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うっとりするほど甘い</li> <li>・ パンチが効いて辛い</li> <li>・ すうっとしてさっぱり</li> </ul> <p>○ 3つの味に分けたものをお店にならべること。</p> <p>○ もっとうっとりするような、もっとパンチの効いた、もっとすうっとするお菓子づくりに挑戦すること。</p>	<p>○ 子どもたちの思いがふくらむように、妖精からの手紙を読み、3つの味のお店をつくっておく。</p> <p>○ イメージの決め手になった色や形、模様を自分のお菓子各お店で並べられるようにする。</p> <p>○ 自分のお菓子のイメージを広げるために、友達のお菓子の色や形、模様を鑑賞させる。</p>
	<p>5 ○ 思いをふくらませるための 想像を広げる活動</p>	<p>9 自分がつくったお菓子を箱詰めにする。</p> <div data-bbox="647 810 1431 880" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ようせいさんがよろこぶように お菓子を はこにならべよう</p> </div> <p>○ お菓子が引き立つような飾り方を考えること。</p> <p>○ 資料コーナーも参考にしながら、自分のお菓子にあった箱詰めをすること。</p>	<p>○ 箱詰めの参考となるように、お菓子の下にしくものの資料を提示する。</p>
<p>鑑賞</p>	<p>○ 完成の喜びを味わう活動</p>	<p>10 箱詰めにした自分のお菓子をようせいさんに紹介するお手紙を書く。</p> <p>○ 自分のおすすめポイントを書くこと。</p> <p>○ お友だちの作品を見て回ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や友達の作品のよいところを発表し合う。</li> </ul>	<p>○ 自分の箱詰めを見て妖精さんあてにお手紙を書く</p> <p>○ 完成の喜びを味わえるように、友達同士の交流を仕組み、互いのよさや面白さを見付けることができるようにする。</p>

## 第1学年 図画工作科学習指導案 (3 / 5)

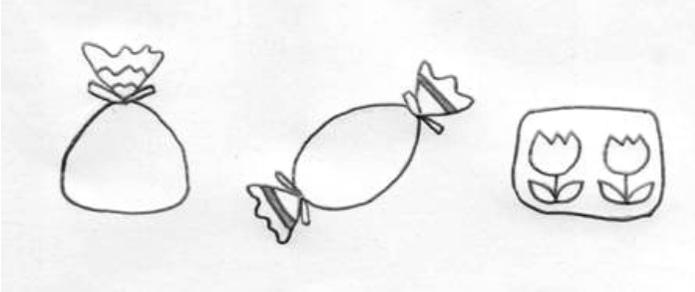
**本時** 公開授業I 場所：1年 教室

**本時の目標** ○ つくっているお菓子をおいしそうに見せるため、工夫してラッピングすることができる。

**授業仮説** ○ お菓子のラッピングされた様子から、子どもたちは新たな発想をし、想像をふくらませながらお菓子を表現していくことができるであろう。

**準備** (児童) つくっている石のお菓子、お菓子箱、パス、色ペン、図工ノート (教師) 室見川の石、赤い布、提示資料 (包み方3種類・ラッピングの模様)、妖精から届いたお菓子の箱 (2つ)、セロハン (大・小)、ラッピング用針金、セロハンテープ、お手ふき、顔料ペン

**本開**

主 な 学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
<p>思いを深めるための想像を広げる活動</p> <p>1 本時の活動と、めあてを確認する。</p> <p>○ 妖精から届いたお菓子を見て、ラッピングの仕方を知ること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">おかしがもっとおいしそうに見えるようにつつもう。</p> </div> <p>2 自分のお菓子のラッピングの仕方を考え、きれいにおいしそうに見えるように包む。</p> <p>(1) セロハンの大きさを石の大きさを考えて選ぶ。</p> <p>(2) 提示した資料を参考にして、セロハンの包み方を決め、包む。</p> <p>(3) セロハンの包みを観察して、どこに模様を描くのか決める。</p> <p>(4) 包んだ上から、または、セロハンをほどいて色ペンを使って模様を描く。</p> <p>(5) 模様を描いたセロハンで、お菓子を包む。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>3 本時の活動を振り返り、次時の活動への意欲を高める。</p> <p>(1) 自分や友達のお菓子を見て、一番好きなのはどれかを選び、そのわけを伝える。</p> <p>(2) 自分の活動を振り返り、図工ノートを書く。</p> <p>(3) 次は、さらにお菓子をつくることを話し、次時への意欲を高める。</p>	<p>○ 前時までの子どもたちの活動を賞賛し、本時の活動の意欲を高めるようにする。</p> <p>○ 妖精から届いたお菓子の箱その1を開け、前時につくったお菓子がセロハンのラッピングでさらにおいしそうに変身した例を示し、意欲を高めるようにする。</p> <p>○ さらに、妖精から届いたお菓子の箱その2を開け、セロハンに模様を描くともっとおいしそうに見えることに気付かせるようにする。</p> <p>○ 活動が停滞している子どもには、提示した資料を参考にしながら、その子のお菓子里に合う包み方や模様を考えさせる。</p> <p>○ セロハン (大・小)、ラッピング用針金は自由に選べるように、「室見川の石コーナー」の隣に「材料コーナー」として置いておく。</p> <p>○ 1つの作品を包み終わったら、また新しいお菓子をつくって良いことを知らせる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>一カ所結び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>二カ所結び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>包む</p> </div> </div> <p>○ 子どもたちのお気に入りのお菓子を発表させ、作品のよさを交流する。</p> <p>○ 子どもたちの活動の良さを賞賛し、本時の活動の満足感を持たせる。</p>

## 第1学年 図画工作科学習指導案 ( 4 / 5 )

**本時**

授業公開Ⅱ 場所：1年 教室

**本時の目標**

○ お菓子の味を考えながらお菓子のイメージを広げ、石のお菓子を並べたりつくったりすることができる。

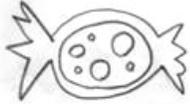
**授業仮説**

○ おいしそうに見える包み方を工夫した子どもたちにお菓子の味というイメージを加えれば、自分のイメージをさらにふくらませた作品をつくるであろう。

**準備**

(児童) 前時に作った石・図工ノート・パス・色ペン・空き箱 (教師) ワゴン・飾りだな・室見川の石コーナー・セロハン・ラッピング用針金・顔料ペン・3つの味の石のお菓子と写真

**本時展開**

主 な 学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
<p>思いを深めるための想像を広げる活動</p> <p>1 妖精からの手紙を読み、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">できたお菓子のあじをかながえて、お菓子をならべよう。</p> </div> <p>2 できたお菓子を鑑賞し、イメージに合わせて種類別に並べる。</p> <p>(1) 教師の作ったお菓子を色や形、模様などから3種類のイメージに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うっとりするほど甘い</li> <li>・パンチが効いてからい</li> <li>・すうっとしてさっぱり</li> </ul> <p>(2) 自分の作ったお菓子を鑑賞して3種類に分け、3つのお店に分けて並べる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>うっとりするほど甘い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パンチが効いて辛い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>すうっとしてさっぱり</p> </div> </div> <p>3 もっとつくりたい味のお菓子づくりをする。</p> <p>○ つくりたい味を決めてお菓子を一つ仕上げる。</p> <p>4 みんなの作品や自分の作品から、その味にぴったりだと思うものを選ぶ。</p> <p>5 図工ノートを書く。</p>	<p>○ 前時までの活動を賞賛し、本時の活動意欲を高める。</p> <p>妖精さんからのお手紙</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ありたしょうがっこう1ねんせいのみなさんへ</p> <p>こんにちは。このまえみんながつくっていたお菓子をみてとってもびっくりしました。なぜって、とてもおいしそうだったからです。わたしは、みんながつくったお菓子をたべてみたくなりました。ところでみんながつくったお菓子は、どんなあじですか。こんどおしえてくださいね</p> <p style="text-align: right;">おかしずきのようにせいより</p> </div> <p>○ 分ける種類がよくわかるように、飾りだなの上に味の種類名を掛ける。</p> <p>○ 子どもたちが分けるときに迷わないように、いくつかのお菓子の例を見せて分けるときのポイントを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>うっとりするほど甘い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パンチが効いて辛い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>すうっとしてさっぱり</p> </div> </div> <p>○ 一人ひとりの活動意欲が高まるように、個人カルテや子どもたちの活動の様子を見ながら一人ひとりの活動よさを賞賛し、必要に応じて助言を行う。</p> <p>○ 子どもたちの活動のよさを賞賛し、本時の活動の満足感を持たせる。</p>

# おかしいっばい

ようせいさんが よろこぶおかしをつくろう。

	ふりかえり	さくひん・せんせいから
1	きょうのがくしゅうは、たのしかったですか。    わけ -----	
2	きょうのがくしゅうは、たのしかったですか。    わけ -----	
3	きょうのがくしゅうは、たのしかったですか。    わけ -----	
4	きょうのがくしゅうは、たのしかったですか。    わけ -----	
5	きょうのがくしゅうは、たのしかったですか。    わけ -----	